

6月15日（木）～16（金）開催

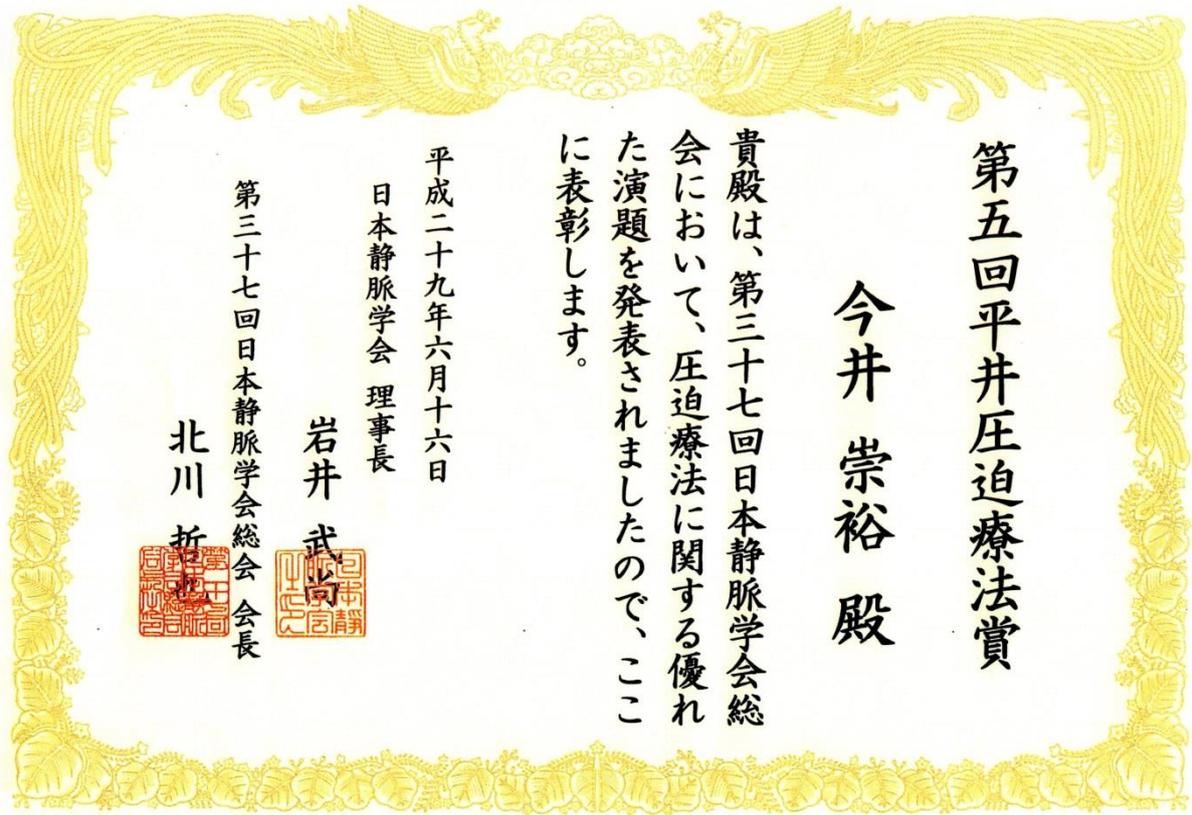
第37回

日本静脈学会総会において

血管外科センター長 今井 崇裕 先生が

『第五回平井圧迫療法賞』を

受賞されました。



圧迫療法の普及と地場産業の復興を目的とした

NARA ソックス・プロジェクト

NARA Socks Project aiming at a spread of compression therapy and a revival of local industry

今井崇裕¹ 齊藤精久² 竹中美鈴³ 和田小百合³ 黒瀬満梨奈³ 長村果奈³
今谷敏司⁴ 書川 敬⁴ 岡本 健⁴ 池之内英明⁴ 山下哲児⁵ 西岡志真⁶



¹ 西の京病院 血管外科

² 西の京病院 内科

³ 西の京病院 看護部

⁴ 西の京病院 検査科

⁵ 西の京病院 放射線科

⁶ 西の京病院 薬剤部

【はじめに】奈良県は国内随一の靴下産地で、全国靴下生産数量の 37.4%を占める。近年は低コストの東南アジアの輸入品が急増し、生産量は最盛期の 2 割程度に激減している。靴下産地の伝統的な製造技術と高品質の靴下を伝えるため、県下の会社と市販用ハイソックスタイプの着圧ストッキングを製作した。製作したストッキングを着用し、前後の下肢周囲径の変化、下肢血流の増加効果、官能検査を検討した。当院の看護研究倫理委員会に研究目的・要旨を申請し、承認を得た。

【対象】2017 年 1-3 月。対象は研究の同意を得た健常ボランティア 30 名(男女比 14/16 34.5 歳)。

【方法】製品仕様はナイロン・ポリウレタン。製法は丸編み。編み機は G525H-200N(ロナティ社, イタリア)。設計着圧は AMI3037-10(株式会社エイエムアイ・テクノ, 東京)で測定。10 回の洗濯試験を行い、ダミー平均圧迫力は足関節/腓腹部:32.2/16.8hpa で維持。被験者の計測は弾性ストッキングコンダクターが担当した。下肢周囲径は足関節部, 腓腹部, 大腿中間部で測定。圧迫圧はピコプレス(Microlab Elettronica 社, イタリア)を用い、足関節部, 腓腹部外側で測定。体位は立位および仰臥位とした。血流は座位で CVT が超音波パルスドプラ法によりストッキング着用前, 着用 20 分後, 40 分後の膝窩静脈の最高血流速度(PV)と血管径(VD)を測定。官能検査はアンケート方式で、既存の医療用弾性ストッキングと比較した。着用 15 分間の歩行後、履き心地, 圧迫感, 通気性を評価した。

【結果】着用後の下肢周囲径は減少し、20 分後の膝窩静脈 PV は増加した。官能検査は既存のストッキングより満足度は高かった。

【結論】薬事承認を受けた医療用弾性ストッキングによる厳密な圧迫療法はできないが、血栓症予防など用途を限れば下肢静脈還流促進に有効であると思われる。この研究をもとに、県下の医療機関・靴下会社・大学生とともに PR 活動を行い、圧迫療法の普及と地場産業の復興に貢献したい。